

分野	21	保健・医療
施策	212	医療体制の確保
5年後の目標	かかりつけ医と総合医療機関等との連携のもと、乙訓圏域での医療体制が確保され、市民が適正に利用している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域医療支援事業		会計	款	項	目	75,945,080	健康医療推進室
			一般	4	1	1		
事業の概要								
市民の健康の維持を脅かす疾病の罹患や負傷に対し、いつでも安心して医療にかかれる体制を確保するため、地域医療機関、団体との連携を通して、救急医療体制を含む地域医療の維持、整備、提供のための支援を実施します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	休日、夜間の救急医療体制の確保				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	確保できている (平成26年度)	目標	確保できている	確保できている	確保できている	確保できている	確保できている
		実績	確保できている				
<ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療体制として、年末年始を含む休日の内科・小児科の救急患者の受入れのため乙訓休日応急診療所のほか、外科医療を在宅外科当番医制事業により確保しました。 ・初期救急医療診療が困難な病気や入院・手術が必要な患者に対応する二次救急医療体制として、京都市の病院群輪番制病院運営事業に参加し、休日・夜間の重症救急患者の受入れ体制を確保しました。 ・公的病院である済生会京都府病院の不採算医療部門を対象とした経費の助成を行い、地域医療充実の一助としました。 					<p>日曜・祝日の息患は、外科の当番医は、変更になる場合があります。テレホンサービス(0553-3900)で確認。 <small>内科・小児科</small> 午前9時30分～午後4時 <small>午後9時30分～午後4時(急患時専用)</small> 5日 村西院 29日 済生会京都府病院 <small>乙訓休日急患診療所 ☎955-3320</small> (休診日)日(16:6) (休診日)日(16:6) (休診日)日(16:6) <small>(休診日)日(16:6)</small> 12日 神楽岡外科 (休診日)日(4:8) 救急も安心 小児救急電話相談 <small>(休診日)日(16:6)</small> 19日 千歳病院 (休診日)日(14:26) *夜間・急患 ☎0600(9時) <small>(休診日)日(16:6)</small> 26日 長岡病院 (休診日)日(9:14) *ダイヤル回線電話からの場合は ☎061-5526へ。 <small>*担当医の所属により、診療によっては必ずしも対応できない場合があります。</small></p>		
広報長岡京 救急医療案内記事(毎月掲載)							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	健康寿命		健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。	196
		A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療体制の一環として、乙訓休日応急診療所(内科・小児科)がありますが、外科診療を中心とした救急患者の受入れ体制として、在宅外科当番医制事業を実施し、安心して医療にかかれる体制は確保できました。 ・乙訓地域だけで救急における二次医療機関確保は困難なため、京都市が実施している病院群輪番制病院運営事業へ参加し、二次救急医療体制が確保できています。 	
課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・乙訓休日応急診療所の医師は、開業医や病院などの医師が勤務先とは別に出務する必要があり、医師の負担が大きく、内科医・小児科医の確保が難しくなっています。 ・京都市の病院群輪番制病院運営事業に参加しているため、当番の病院が遠方になることがあります。乙訓地域だけで多種類の診療科目における輪番体制を組むことは、医療資源や財政負担の面からも困難です。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療体制については、休日等の急な病気やけがなどに対し応急的な診療を行えるよう、関係機関と連携のもと、医師確保の体制を維持します。 ・二次救急医療体制の確保のため、同じ医療圏である京都市との連携による病院群輪番制病院運営事業を継続していきます。

分野	21	保健・医療
施策	212	医療体制の確保
5年後の目標	かかりつけ医と総合医療機関等との連携のもと、乙訓圏域での医療体制が確保され、市民が適正に利用している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域医療ビジョン(長岡京市版)策定事業		会計	款	項	目	100,000	健康医療推進室
			一般	4	1	1		
事業の概要								
長岡京市域の医療資源を有効に活用し、在宅医療体制の充実や地域の診療所、病院と中核病院との連携の在り方を検討し強化するなど、効果的な医療体制の充実を図るため、地域医療ビジョン(長岡京市版)を策定します。併せて、公的病院である済生会京都府病院への支援の在り方も含めて、検討します。								

平成28年度の取組								
D (取組)	指標	地域医療ビジョン(長岡京市版)の策定					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	—
	平成28年度新規事業	目標	地域医療ビジョン懇談会における検討	地域医療ビジョン懇談会における検討	地域医療ビジョン(長岡京市版)の策定	—	—	—
		実績	懇談会を3回開催					
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月に「長岡京市地域医療ビジョン懇談会設置要綱」による委員の選出を行い、次のとおり懇談会を開催しました。 第1回懇談会(平成28年5月26日):長岡京市における地域医療の現状について協議。 第2回懇談会(平成28年11月14日):地域医療ビジョンの検討テーマを4つ選定し、第1の検討テーマを協議。 第3回懇談会(平成29年2月13日):京都府地域包括ケア構想中間案の報告と第2の検討テーマを協議。 					 <p>地域の中核病院である済生会京都府病院</p>			

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。			196
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療ビジョン策定に向け、懇談会を3回開催し、4つの検討テーマの選定と2つの検討テーマについて協議ができました。 第3回懇談会においては、検討テーマに係る関係団体から参考人(臨時委員)として参画してもらい、広く意見をいただきました。 	
課題等	地域の住民や医療関係者の意見を地域医療ビジョンに反映するため、テーマ毎に関係者(臨時委員)の参画を受けるなど、多方面からの意見・情報を広く収集する必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療ビジョンの策定に向け、懇談会を3回開催し、残りの検討テーマについて協議を行います。また、公的病院である済生会京都府病院が地域医療で担う役割などを含め、支援の在り方について検討を行います。 懇談会での委員その他関係者からの意見を集約し、地域医療ビジョン中間案の作成を行います。 パブリックコメントを実施した上、平成30年夏を目途に地域医療ビジョンを策定します。
1:計画通りに進めることが適当	